

# 白鷹 幸伯

しらたか

ゆきのり

鐵に千年の命を  
吹き込んだ鍛冶師



入場  
無料

**開催期間** 令和2年12月5日(土)~令和3年3月14日(日)  
(※12月5日はオープニングセレモニー開催のため10時30分開場)

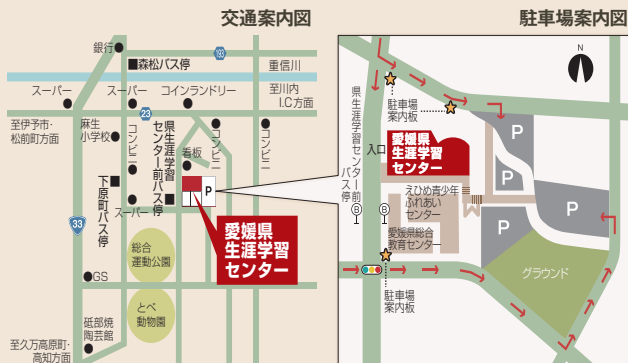
**休館日** 月曜日(祝日及び振替休日に当たる場合はその翌日)  
年末年始(12月29日~1月3日)

**会場** 愛媛県生涯学習センター内  
愛媛人物博物館3階・企画展示室

**開館時間** 9時~17時30分 ※博物館への入館は17時迄

**プレ展示** 令和2年11月28日(土)・29日(日) | えひめ生涯学習“夢”まつり内  
愛媛県県民文化会館

■ 主催 / 愛媛県生涯学習センター  
■ 後援 / 愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会・愛媛新聞社・NHK松山拠点放送局・南海放送・テレビ愛媛  
あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛  
■ 写真 / 白鷹興光氏・能田昭男氏・神谷教彰氏



■ お車でのご越しの方は…隣接駐車場(約400台)をご利用ください。  
■ バスご利用の方は…  
● 伊予鉄バスの場合 ○ 砥部方面行き→下原町バス停にて下車(徒歩約15分)  
○ 丹波方面行き(森松バス乗車)→県生涯学習センター前バス停にて下車  
● JRバスの場合 ○ 久万高原町方面行き→下原町バス停にて下車(徒歩約15分)



# 白鷹幸伯



～鐵に千年の命を  
吹き込んだ鍛冶師～

昭和52（1977）年、かねてより飛鳥時代、奈良時代など古代に使われた工具の復元に取り組んでいた鍛冶師・白鷹幸伯のもとに、薬師寺西塔の再建に使う白鳳型和釘の復元とともに約7,000本鍛造の注文が舞い込みました。この和釘を鍛造する鍛冶師として幸伯を推したのが、法隆寺専属の宮大工であった昭和の名棟梁・西岡常一でした。西岡棟梁が示した和釘の鍛造の条件は、薬師寺創建当時の西暦680年頃の鐵に限りなく近い材料を用い、またその時代の製造法に限りなく近い方法で鍛造し、さらに1,000年の耐久性を兼ね備えたものというとても厳しいものでした。西岡棟梁から提供された釘の図面や法隆寺の古釘を基に研究を重ねた幸伯は、鍛造には不純物の限りなく少ない高い純度の鐵と高度な鍛冶の技術が必要であると結論づけ、関係者からの助言を受けながら試行錯誤を繰り返して、見事にその要求に応えた白鳳型和釘の復元に成功しました。

以来、25年以上にわたり幸伯は、薬師寺中門、回廊、大講堂の再建に用いる白鳳型和釘を大小約3万本鍛造するとともに、奈良県にある国宝・室生寺五重塔や、我が国の国重要文化財・松山城本丸一ノ門の修復など、様々な歴史的建造物の修復や再建に使用する、和釘や鋸などを鍛造するという重要な役割を担いました。

本展では、自らを「野鍛冶」と称し、生涯現役を貫いて「鐵」と向き合い、長年にわたり我が国の歴史的建造物や文化財の再生と保全を支え続けた鍛冶師・白鷹幸伯の足跡を、関係資料をとおして紹介するとともに、その人物像に迫ります。

## 白鷹幸伯の礎

白鷹幸伯は、9歳の頃から父の鍛冶を手伝って建築金具などの製法を覚え、高校卒業後は土佐鍛冶の流れをくむ長兄から、山林用の刃物や包丁の製法を習得します。しかし、戦後の高度成長期を迎えた状況下で鍛冶師としての将来が見出せなかったため、上京して刃物専門店「木屋」に入社しました。

ここでは、鍛冶師・白鷹幸伯の原点を関係資料とともに紹介します。



## 刃物専門店「木屋」社員時代

26歳で上京した白鷹幸伯は、刃物専門店「木屋」に入社します。仕入の担当となった幸伯は、各地の鍛冶場を訪れ、「匠」としての鍛冶師の仕事を再認識しました。そして、昭和46(1971)年、法隆寺専属の宮大工で昭和の名棟梁と言われた西岡常一が木屋に来店、後半生を大きく変える運命的な出会いを果たします。

ここでは、「木屋」に入社後から西岡棟梁との出会いまでを関係資料とともに紹介します。



## 鍛冶師・白鷹幸伯

家業を継いでいた長兄の病死を機に、白鷹幸伯は故郷で鍛冶屋を継ぎました。木屋の社員時代から西岡棟梁の指導の下、古代工具の研究と復元に取り組んでいた幸伯は、今度は鍛冶師としてその復元に打ち込みました。そして、このことが縁となって、薬師寺西塔再建用の白鳳型和釘の復元と約7,000本鍛造の仕事が舞い込みます。

ここでは、鍛冶師・白鷹幸伯の偉業と軌跡を関係資料とともに紹介します。



## 伝統と技術をささえた絆

鍛冶師として仕事に打ち込み続けた白鷹幸伯と、苦勞しながらも明るくそれを支え続けた璋子夫人との絆について関係資料とともに紹介します。また、幸伯の号「興光」を実名として名付けられた令息が受け継いだ「心」と「技」を、写真や協同で鍛造した作品などとともに紹介します。



## 関連講座 演題「白鷹幸伯・鐵の歴史と鍛冶の技術 ～鐵の歴史を読み解く深い知識～」

講師 / 栗田孝一 氏

(白鷹記念館館長・(株)栗田鋳造所代表取締役)

日時 令和3年1月10日(日)  
13時30分～15時(13時開場)

会場 愛媛県生涯学習センター 大研修室

- 受講 無料
- 定員 50名 ※定員になり次第、受付を終了いたします。
- 申込 住所・氏名・電話番号を明記して、はがき・FAX・メールまたは電話でお申し込みください。
- 感染症拡大防止のため、中止となる場合がございます。

## 展示解説会

(参加無料・申込不要)

日時 令和2年12月20日(日)  
令和3年1月24日(日)、2月21日(日)、3月14日(日)  
各日とも13時30分～及び15時30分～の2回

会場 愛媛人物博物館3階 企画展示室

お問い合わせ  
お申し込み

愛媛県生涯学習センター

指定管理者/(株)レスパスコーポレーション  
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地  
TEL 089-963-2111/FAX 089-963-4526 URL <http://www.i-manabi.jp/>